

## 徳島大学

4月・5月

● 入学式 (4月6日)



● 五月祭 (5月)

五月祭は、主として新入生を対象に学生相互の親睦をはかることを目的とし、毎年5月に開催しています。ステージ、模擬店、貫歩企画などで交流の輪を広げます。



6月・7月

● 四国地区

大学総合体育大会

学生の健全なる体育の発展と学生相互の親睦をはかることを目的とし、四国地区の国・公・私立(短大を含む)大学の学生が参加します。



8月・9月

● 科学体験フェスティバル in徳島

(8月5日・6日、理工学部)

● 徳島大学

オープンキャンパス

(8月上旬～中旬、

常三島・蔵本キャンパス)



10月・11月

● 開学記念日 (11月2日)

● 大学祭 (蔵本祭10月8日・9日 / 常三島祭11月4日・5日)

大学祭はこれまで63回行われ、本学の課外活動としては最も歴史のかつ最大のイベントです。各学部・各サークルの趣向をこらした催し物、学部研究室の一般開放、市民と学生のつどいなど地域社会との交流もいろいろ企画され、全学あげての多彩な祭典が繰り広げられます。



12月・2018年1月

● 中・四国国立大学連合演奏会・連合美術展覧会

学生の健全なる文化の発展と学生相互の親睦をはかることを目的として、中・四国の国立大学法人9大学の学生が参加して行われます。

2月・3月

● 卒業式 (3月23日)



## 徳島

● はな・はる・フェスタ (4月15日・16日)

「阿波踊り」「リパークルーシング」をはじめ、徳島市内中心を流れる新町川を舞台としたイベントが開催されます。



● 第31回美郷ほたるまつり (5月下旬～6月中旬)

吉野川市美郷地区は地区全域が「美郷のホテル及びその発生地」として国の天然記念物に指定されており、ホテルが飛ぶ流域面積、数、期間とも全国でも有数の地域です。



● 第36回ベートーベン「第九」交響曲演奏会 (6月4日、鳴門市文化会館)

1918年6月1日、鳴門市大麻町板東にあったドイツ兵俘虜収容所の俘虜たちが、アジアで初めてベートーヴェンの「第九」交響曲を演奏したのちにちなんで、毎年6月に市民が参加できる「第九」演奏会を開いています。



● ひわさうみがめトライアスロン (7月16日、美波町)

● 阿波踊り (8月中旬、県内各地)

400年の歴史を持つ徳島の夏祭りです。徳島大学からも多くの連(踊りのグループ)が参加します。



● 阿波の狸まつり (11月上旬、徳島市藍場浜公園)

ステージではショーやコンサートが行われます。各市町村の特産品も販売されます。

● 妖怪まつり

(11月下旬、三好市山城町)

妖怪のこなきじいじの故郷である三好市山城町上名藤川谷周辺で開催されます。



● 徳島駅伝

(1月上旬、県内各地)

昭和30年から続く伝統ある大会です。中高生から実業団選手まで、世代を超えて出場します。

● 第30回ビッグひな祭り (2月下旬～4月上旬、

勝浦町人形文化交流館(仮設展示場))

会場には、高さ約8mのひな壇に約3万体のひな人形を飾り付けます。



# My Campus Life

医学部 医学科3年

小林 陽花 (こばやしはるか)

はじめまして。徳島大学医学部医学科3年の小林陽花と申します。兵庫県の明石北高校出身です。私は、普通の医学生とはちょっと変わった学生生活をしているので、その経験について書こうと思います。

中でも一番印象深かったのは、留学です。1年生の夏、大学の提携校であるオーストラリアの Monash 大学に1ヶ月間語学留学させていただきました。私はそこで、言語や背景が異なる方々と出



オーストラリア留学時の  
ホストファミリーと



医学生セミナーにて

## My Life Situation

アルバイト 家庭教師 居酒屋  
趣味 旅行 映画鑑賞 読書  
サークル Les Bulles TIFMSA  
A-TIMS 室内楽同好会

会い、たくさんの刺激を受け、国際交流の魅力に憑りつかれました。英語が上手く話せなくなかなか伝わらなくてもどかしい思いをすることも何度もあり、英語を勉強したいという思いも強まりました。それが転機となり、さらに冬にもカナダに1ヶ月、語学留学し、また、去年の夏には、学科のプログラムでモンゴル国立医科大学にも研修に行かせていただきました。モンゴルでは、医療が日本ほどは進んでおらず、日本や韓国のボランティア団体が入って、技術提供や医療器具の贈呈などを行なっていることを知りました。また、モンゴルの医学生は意識がとても高く、教科書が英語しかなくても、施設が整備されていなくても、情熱を持って学んでいて、その姿勢にとても感化され、自分を見直すきっかけにもなりました。

もう一つは、学外での活動です。地域のスポーツ大会、料理教室、B B Qなどのイベントや、国際交流協会の阿波踊りに参加したりしました。また、医学部という面では、全国の医学生が集まって医療について考える医学生セミナーに参加したり、自主的に離島の診療所見学に行ったりしました。講演会を聞くために九州から東北まで色々な場所へ出向いたりもし

ました。その中でも、被災地に行き、被災者の方の生の声を聞いたことや、ホームレスの方々とお話させていただいたことは、私の中でとても印象に残りました。また、他大学の医学生や、先輩医師の方々と議論することで、多面的な見方をすることができ、新たに視点を広げることが出来ました。

アドラーは、「人間の悩みは、全て対人関係の悩みである」と述べていますが、言い換えると、「人間関係が豊かだと、素敵な人生を歩める」ということだと私は思っています。振り返ってみると、この2年間、私は、老若男女、人種を問わず、様々な人に出会い、彼らからたくさん学ぶことを学んできました。そのおかげで、自分の進みたい道も見えてきたように感じます。直近の目標としては、去年落ちた留学の面接を今年は合格することと、興味を持つ医療活動と海外活動を同時に満たせる、「国際医療」の活動ができたらいなと思っています。学生という時間のある間に色々な経験をし、1つ1つの出会いを大切にしたいと思っています。最後にりましたが、執筆の機会を与えてくださった井本教授を始め、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



モンゴルでラクダに乗りました!



カナダ留学時のクラスメイトとともに(左下)



医療通訳の試験も何とか合格(左から2番目)